

7月1日 朝礼にて

先週の朝礼で何を話したか覚えていますか。もし居たら手を挙げてください。はい、7～8人居ましたね。一番はじめに手を挙げてくれた人、そうです、富士山が世界遺産に認定されたって言う話をしましたね。思い出してくれましたか。そのあと、もう一つ話したんだけど、覚えていますか。ファイターズで頑張っていたこと。そうです。校長先生が休みの日に学校に来たら、ファイターズの子たちが一生懸命がんばっていたことです。

みんな、ほとんど忘れていきますね。校長先生の話は忘れてもいいと思っているわけでもないんだけど、忘れてしまっています。でも、さっき答えを聞いて、「そうだった」と思い出してくれればいいんです。どこかで、違う人の話を聞いたとき、そういえば校長先生も同じような話をしていたなあと思ひ出してくれればいいんです。でも、聞いているときは、真剣にきいて下さい。

さて、今日は忘れてはいけないことばの話をしてします。小牧市の中学校の校長先生から聞いて感動したお話しです。ことばの中には、あなたたちのとってもいいところを消してしまうことばがあります。何でしょう。それは、汚いことばです。どんなことばか知っていますか。

こんなことばを言ったことはありませんか。

「うざい」こんな言葉を聞いて気持ちいいですか。

こんなことばを言ったことはありませんか。

「バカ」こんな言葉を聞いて気持ちいいですか。

こんなことばを言ったことはありませんか。

「キモイ」こんなことばを聞いて気持ちいいですか。

こういうことばを聞いて気持ちがいい人がいますか。いないですよ。汚いことばをつかうと、汚い心が出てきます。汚い心になると、もっと汚いことばが出てきます。どんなことばか知っていますか。知っているけど言いません。そして、そんなことばをいうと、もっと汚い心になります。だから、汚いことばは心に毒を盛るんですけど、そのことばを一番近くで聞いている人は誰か知っていますか。そうです。自分です。自分が一番近くで汚いことばの毒におかされるんです。耳から聞いて、自分をもっと汚い人間になっていくんです。だから、汚いことばをつかってはいけません。「あっ、悔しい」と思ったときに、「死ね」とか言っちゃいけないんです。

反対になることばは何か知っていますか。そうです、きれいなことば、美しいことばです。大事な話だから、きれいなことばをいっぱい探してきました。

「ありがとう」と聞いて、「くそ、バカヤロー」と思いませんよね。

ちょっとぶつかったけど「ごめんね」と聞いて嫌な気持ちになりませんよね。

「やったね」と聞いて、「なんだそれ」って思いませんよね。

「すごいね」と言われて、嫌な気持ちになりませんよね。

さっき聞いたことばと反対のことばです。これを使うと、気分が良くなります。それに、さっきと同じように、自分が一番近くで聞きます。だから、自分自身がきれいな心になっていきます。すると、もっともっといい人になります。汚いことばは使わないように気をつけて下さい。

来週も同じお話をします。覚えていて下さい。